四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の誌歌紹介

はな・はのはの句会　池田一歩選

手を振って迎へ車や萩白し　桑野　園女
耳遠くなりたる事も秋思なる　柴田ヒサエ
雀らの案山子侮りをりしかな　持丸テル子
直ぐそこに秋の来てをり風の園　永末　公恵
名月や辛き思ひ出ふと忘れ　宇野美奈子
百歳の恩師とありて実むらさき　大堀まさ恵
とんぼうの止まりし杭の影長し　熊谷カツミ
老人会宴の後の虫しぐれ　本島真知子
稲光怠惰の隙をつかれけり　池田　駒女

福智町金田公民館俳句教室　岩井嵬童選

金剛像残暑に怒る力瘤　建部三由紀
郭の名留むる路地や酔芙蓉　日比生利子
病む心故郷にあそぶ生身魂　松岡　篤枝
カーテンの揺れをかすかに秋立てり　永尾喜美江
見ては泣き読んで又泣く終戦日　小川　雪
かんしゃくくの字が取れし生身魂　長副美恵子
星月夜宇宙への夢遊ばせて　迫田　昌子
新涼や献立表の女文字　今井三千代
逃げる子をバリカンが追ふ残暑かな　吉村ヨシ子
掴みたきものを探して朝な草　花石かほる

方城句会　池田一歩選

朝の日の輝きにあり蟋蟀　野村　鈴子
親しげに守宮来てをり今宵又　長尾　冴子
朝まだき畑への道の露しとど　桑野　昌宜
石碑に沿ふせゝらぎや草の花　白石　凡子
さざ波のきらめく山湖あきつかな　渡邊　一枝
一雨の程よき湿り大根蒔く　尾崎　和子
行く雲を行かしめ秋の空深し　藤井耿之介
はぜ一葉小さな秋に歩を止めて　杉　フジエ
盆踊り無我の境地になってをり　倉石嘉代子
罹災者の帰る魂棚移されて　木村　誠一

ともしび短歌会短歌詠草

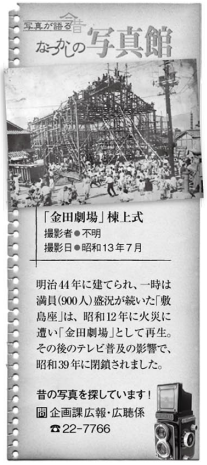
放水路を滑り落ちたる水の音峡にこもりてひびき合いたり　佐竹喜久雄
山肌を削りて下りし土石流岩も家をも瓦礫と化せり　越智　早苗
さるすべりの紅あふるる花房の驟雨のあとはなお燃え上がる　加治　智子
梅雨晴れの野道を行けば寄りて来し白鵠鴿の尾羽うち振る　福田　昌
なかなかに逢ふことのなき兄弟姉妹を五十回忌の父呼び寄する　三村　和子

福智の風

▶春に新型インフルエンザが流行した神戸市の商店街では、当時売り上げが約4割も落ちたといいます。未知なるウイルスを警戒して不安をあおるあまり「抗インフルエンザ薬が効かない」などの情報が流れ、人が出歩かなかった結果です▶マスコミの報道がやり過ぎだという意見もありますが、やり過ぎかどうかは結果論で、その時々の確かな情報を得ることは必要。ちなみに季節性インフルエンザでも、日本で年間約1万人の人が命を落としています（間接的要因を含む）▶大切なのは、一人ひとりが今後も情報をキャッチするアンテナを常に張っておくこと。そして氾濫する情報の中から正しいものを見極め、冷静に対処することだと思います。（日吉）

なかの写真館

写真が語る



「金田劇場」棟上式
撮影者●不明
撮影日●昭和13年7月

明治44年に建てられ、一時は満員(900人)盛況が続いた「敷島座」は、昭和12年に火災に遭い「金田劇場」として再生。その後のテレビ普及の影響で、昭和39年に閉鎖されました。

昔の写真を探しています！
問 企画課広報・広聴係
☎22-7766

福智の風と声援を受けて完走目指そう

町内の小中学生を対象とした「ふれあいマラソン大会」が、子ども会育成連絡協議会の主催で開催されます。回を重ね規模も大きくなったこの大会では、学年別などの5部門で子どもたちが完走を目指します。詳細は学校で配布するチラシをご覧ください。

日時▶ 11月15日(日) 9:00開会
場所▶ 彦山川・中元寺川河川敷（合流点スタート）
申込方法▶ 10月8日(木)に説明会（理事会）を行います。福智町子育連未加入の地区は、10月中旬に学校を通じて配布する申込用紙をご覧になり、お申し込みください。
募集期間▶ 10月19日(月)～30日(金)
問 子ども会育成連絡協議会事務局　☎28-2046

48回の審議を経てまとめられたまちづくり「実施計画」答申

昨年9月に浦田弘二町長より諮問を受け、町の最上位計画である「福智町総合計画（まちづくり計画）の実施に向けた計画づくりを進めてきた策定委員会（犬丸瑞穂会長）が、5回の全体会議、6回の役員会議、3分科会の現地調査を含めた通算48回にわたる審議を重ね、9月7日に町長へ答申書を提出しました。

「観光の町」「道路・交通網の整備」「教育の町」「高齢者にやさしい町」「活力ある商店街」「農業再生の町」の6章にわたって現状と目標、実施内容をまとめ、施策の実行と各分野のネットワーク化を強く求めました。

大久保会長（左）から浦田町長に答申書を手渡し

福智町まちづくり計画の実施計画

インフォメーション＆ニュース in FUKUCHI

つながりを通した育成を考える

地域の教育力講演会「子どもたちに笑顔を!!」

地域・家庭・学校のつながりを通して、子どもたちの将来を考える「地域の教育力講演会」が、8月26日に福智町公民館金田分館で開かれました。

「子どもたちに笑顔を!! ～人と人との豊かなつながりから～」の演題で、筑豊教育事務所の吉松信吾氏が講演。「人権感覚」と「知ること（学ぶこと）」の大切さについて自身の体験をはじめ、エッセーや投稿などの事例を紹介しながら伝えました。身近な気づきや感覚、日ごろの視点や何気ない一言など「今できること」の積み重ねが持つ力を、会場の保護者や教育関係者など約80人にやさしく投げかけました。

弁城小PTA新聞「せせらぎ」が入賞

全国小・中学校PTA広報紙コンクール

全国6千校以上が応募した県審査を経た全国小・中学校PTA広報紙コンクール（日本PTA全国協議会主催）で、弁城小PTA新聞「せせらぎ」が佳作に選ばれました。宮城県で8月21日に開かれた全国大会で、弁城小PTAの加来剛会長が表彰状を受賞。

弁城小PTA広報委員長の四郎丸幸子さんは「毎年評価の高い紙面編集はプレッシャーもあり大変な作業でしたが、委員の協力と保護者のみなさんの励ましのおかげで意欲を持って取り組めました。今後も楽しく充実した紙面を目指していきます」と喜びと今後の抱負を語りました。

全国表彰を受けた弁城小PTA広報委員会のかたがた